直江兼続（新潟県立図書館所蔵）

お船の方（兼続お船ミュージアム所蔵）

——「天地人」「河井継之助 龍が哭（な）く」を描いた長岡ゆかりの画家

伝えたい日本のこころと美

長岡まちなかミュージアム2016

画家 中村麻美（なかむら まみ）の世界

日時
平成28年9月27日（火）～10月5日（水）
午前10時～午後5時

会場
アオーレ長岡 西棟3階 市民交流ホールBC・協働ルーム
西棟1階 ホワイエ（長岡市大手通1-4-10）
河井継之助記念館（長岡市長町1丁目甲1675番）
カーネーションプラザ（長岡市大手通2-3-1）

入場料
無料
※河井継之助記念館は常設展とセットのため入館料が必要です
（入館料大人二〇〇円 高校・大学生一五〇円 小・中学生一〇〇円）

巡回展
10月7日（金）～10月16日（日）
兼続お船ミュージアム2階（長岡市与板町与板乙4356）
※入館料（常設展とセット）大人三〇〇円 小・中学生一五〇円
10月18日（火）～10月24日（月）
新潟日報メディアシップ20階（新潟市中央区万代3-1-1）
※入場無料

主　催　NPO法人ながおか未来創造ネットワーク
共　催　新潟県長岡市 新潟日報社
特別協賛　エム・ケー株式会社
後　援　公益財団法人日本武道館

お問い合わせ／NPO法人ながおか未来創造ネットワーク
住所 長岡市大手通1-4-10 アオーレ長岡西棟3階
TEL 0258(39)2500

MEMO 長岡まちなかミュージアム「中村麻美の世界」
CLIENT ■長岡市
TITLE 二折パンフ
FILE NAME 中村麻美展A3パンフ160901
SIZE W420×H297
DATE 16.09.01
PAGE No. 1/2
DIRECTION 荒木
DESIGNED 荒木
A.E 荒木
CHECK
PROOF No. 9
ad & interior カミコー 株式会社カミコー広告部

伝えたい日本のこころと美

長岡にゆかりのある画家 中村麻美の日本画や挿画等を、アオーレ長岡を中心としたまちなか施設に一堂に会し、これまでの軌跡を作品とともに紹介します。大河ドラマ「天地人」の主人公「直江兼続」とその妻「お船の方」を描いた本画をはじめ、新聞小説「龍が哭く」の挿画や美しい草花や歴史的人物など、見どころ満載。画家の作品に込めた想いとともに、後世に伝えていきたい「日本のこころと美」を感じていただける展覧会です。

中村麻美／なかむらまみ

画家・挿画家。三重県津市生まれ。津田塾大学卒。大学在学中、田中峰雪氏に師事し日本画の基礎を学ぶ。英語個人教授業、NHKBS ニュースキャスター、絵本翻訳業を経て絵画を志す。歴史物、武人画等の挿画を手がけ、近年は歴史上の人物の本画作品制作にも新境地を開く。（公財）日本武道館発行月刊「武道」表紙絵『伝えたい日本のこころ』シリーズ（企画ならびに絵と文 2007～）では、語り継がれるべき日本人のよい行い、精神伝統を伝える物語を描く。主な仕事に、新聞小説「天地人」（新潟日報ほか掲載 火坂雅志作 2003～2006）、「天地人丸紋絵巻」（兼続お船ミュージアム所蔵 2009）、「直江兼続」（新潟県立図書館所蔵 2011）、新聞小説「河井継之助 龍が哭く」（新潟日報ほか掲載 秋山香乃作 2015～2016、エム・ケー株式会社花暦（2011～）など。三重県 明和町斎宮跡観光大使、 1986 年度ミス日本グランプリ。http://www.maminoe.jp/

日本画・挿画展 中村麻美の描く日本の美

12 ヵ月の花を水彩で描いた M&K カレンダーの原画をはじめ、日本の美を描いた草花や心象風景の作品を展示します。

2012 年 9 月キキョウ　2014 年 9 月ススキ　2014 年 11 月 大菊

挿画展「河井継之助 龍が哭く」の世界

越後長岡藩の家老 河井継之助の生涯を描いた新聞小説「龍が哭く」の情感あふれる原画を一堂に展示します。

その 181　その 24

日本画・挿画展 画家 中村麻美の軌跡

西棟 3 階市民交流ホール BC

代表作「天地人」の日本画をはじめ高校時代に描いた作品など、画家 中村麻美の誕生から現在の画業にいたるまでの軌跡を、日本画・挿画とともにたどります。

馬上謙信公（新潟日報社所蔵）

原画・パネル展「伝えたい日本のこころ」

西棟 1 階ホワイエ

（公財）日本武道館発行の月刊「武道」の表紙絵を担当して 10 年。これまでの表紙絵の中から長岡ゆかりのテーマを大型のパネルで紹介します。

長岡花火「白菊」（月刊「武道」表紙画）

アトリエ 麻美乃絵 inアオーレ

西棟 3 階市民協働ルーム

アトリエ麻美乃絵がアオーレに出張。アートサロン的な空間を演出します。

巡回展

■10 月 7 日(金)～10 月 16 日(日)
会場：兼続お船ミュージアム 2 階（長岡市与板町与板乙4356）
※入館料（常設展とセット） 大人 300 円　小中学生 150 円

■10 月 18 日(火)～10 月 24 日(月)
会場：新潟日報メディアシップ 2 0 階（新潟市中央区万代3-1-1）
※入場無料

中村麻美さんと楽しむイベント　トークショー＆夜楽

日時　10 月 1 日(土)　会場　アオーレ長岡 西棟 1 階 市民交流ホール A

一部／トークショー「伝えたい日本のこころ」
後世に伝えたい「日本のこころ」を麻美さんの描く日本画とともに
14:00～15:30（受付 13:30） 定員 150 名
入場無料

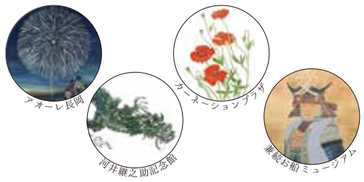
二部／夜楽「日本の美」
おいしい食事とともに、麻美さんと共有する「日本の美」
19:00～20:30（受付 18:30） 定員 40 名
参加料 2,000円

参加申込み　参加者の①氏名②年齢③電話番号④希望のイベントを 電話またはメールにて下記までご応募ください。
※定員に達し次第募集を終了しますので、予めご了承ください。

お問合わせ　NPO 法人ながおか未来創造ネットワーク「まちなかミュージアム 2016」係
TEL：0258(39)2500　MAIL：network@ao-re.jp ※各会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

スタンプラリー開催

長岡の４つの会場を全てめぐると
オリジナルグッズをプレゼント！



(公財)日本武道館発行 武道館出版物初の絵本「伝えたい日本のこころ」刊行

「長岡花火 白菊」、「小林虎三郎 米百俵の精神」、「川中島の名勝負 謙信と信玄」、「良寛さまと筍」まで中村麻美が描く後世に伝えたい美しい物語「伝えたい日本のこころ」が一冊の絵本になりました。

（絵と文　中村麻美）

長岡まちなかミュージアム2016

画家 中村麻美（なかむら まみ）の世界

9.27TUE - 10.5WED アオーレ長岡市民交流ホールＢＣ・市民協働ルーム・ホワイエ、カーネーションプラザ、河井継之助記念館

主催／ＮＰＯ法人ながおか未来創造ネットワーク　共催／長岡市 新潟日報社　特別協賛／エム・ケー株式会社　後援／公益財団法人日本武道館
お問い合わせ／ＮＰＯ法人ながおか未来創造ネットワーク　住所／新潟県長岡市大手通 1-4-10 アオーレ長岡西棟３階　TEL/0258(39)2500